

Canon

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

Resolving Social Issues *with* IT Solutions

統合報告書

2020

2020年12月期

Canon

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011

東京都港区港南2-16-6 CANON **S**TOWER

キヤノンMJグループウェブサイト

会社情報ページ

canon.jp/8060

投資家向け情報

canon.jp/8060-ir

サステナビリティ活動

canon.jp/8060-csr

キヤノンマーケティングジャパングループNOW

(2020年12月期)

新型コロナウイルス感染症拡大により 営業活動に制限を受け減収

売上高
5,451 億円
(前期比12.2%減少)



過去最高の営業利益率

営業利益率
5.7%
(前期比0.5ポイント増加)



資本効率

ROE
6.6%
(前期比0.5ポイント減少)



グループ総力による ITソリューションビジネスの拡大

ITソリューション売上構成比率
37.3%
(2,031億円)
(前期比1.8ポイント増加)



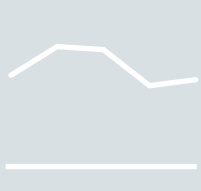
強固な財務基盤

自己資本比率
68.2%
(前期比3.8ポイント増加)



安定した株主還元

配当性向
35.4%
(前期比0.4ポイント増加)
2015年より35%以上で安定的に推移



市場シェア—「収益強化」を支えるキヤノンブランド 2020年国内シェア(キヤノンMJ調べ)

レンズ交換式デジタルカメラ



コンパクトデジタルカメラ



インクジェットプリンター



オフィスMFP



レーザープリンター



大判インクジェットプリンター



気候変動への対応

お客さま先でのCO₂削減貢献量

120,320 t-CO₂

- 製品の省エネ性能向上とカーボン・オフセットの導入
- ITソリューションによる効率化
- 使用済み製品・消耗品のリサイクル



資源の有効利用

再資源化率

99.99%

再資源化率=再資源化量÷市場から回収し処理をした製品の総量



働き方改革

総実労働時間(キヤノンMJ 組合員平均)

1,697 時間

(前期比44時間減少)



ダイバーシティ

女性管理職比率

3.5%

(前期比0.4ポイント増加)



知的財産活動を積極的に推進

特許保有件数

1,302 件

※2020年12月末時点で、特許公報発行且つ維持している特許の数(当社調べ)
セキュリティ関連技術、Webアプリケーション自動生成技術、映像・画像処理関連技術など



セキュリティ製品顧客満足度調査[※]

セキュリティ対策製品

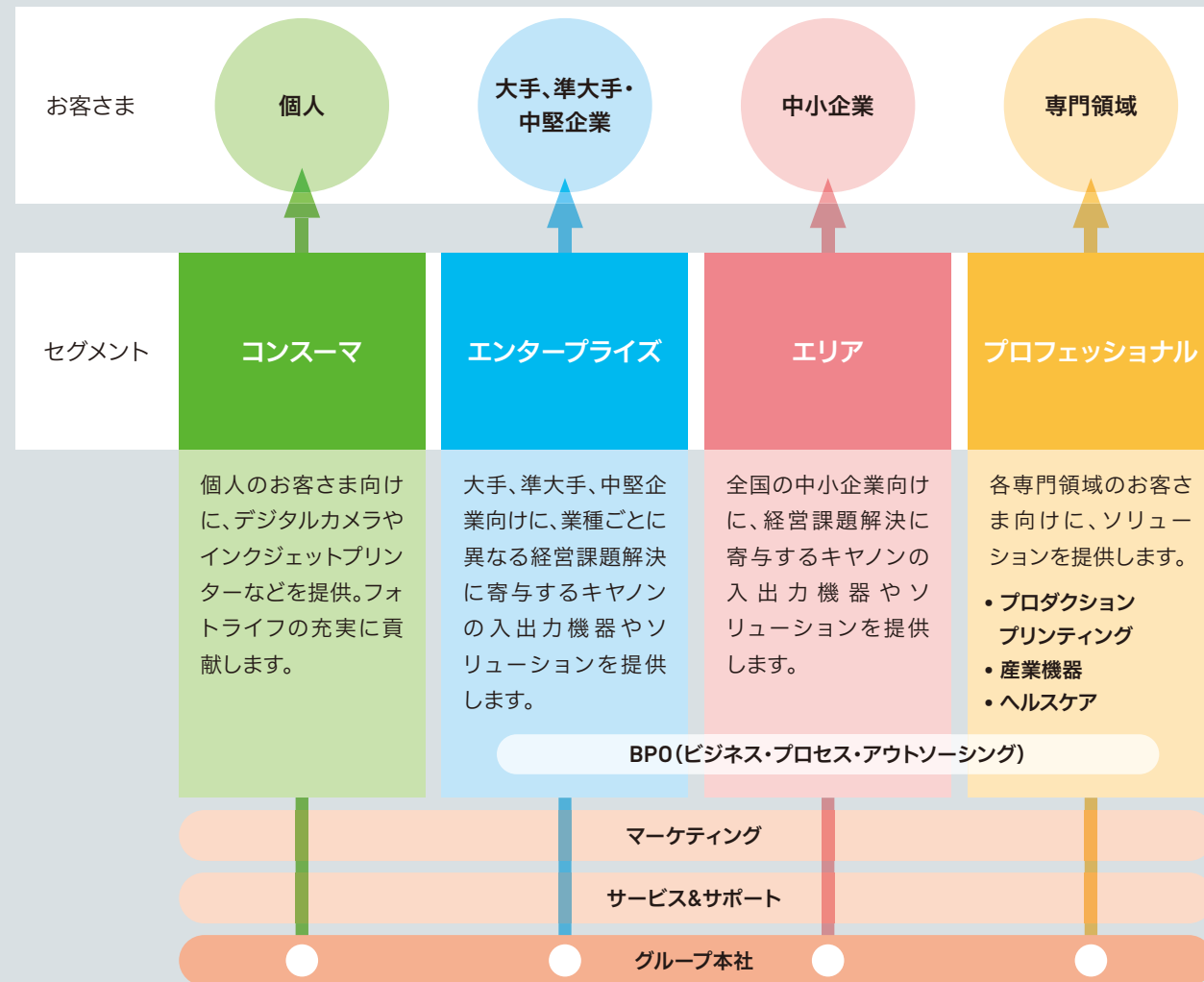
8年連続 1位

※日経クロステック/日経コンピュータ「顧客満足度調査 2020-2021」

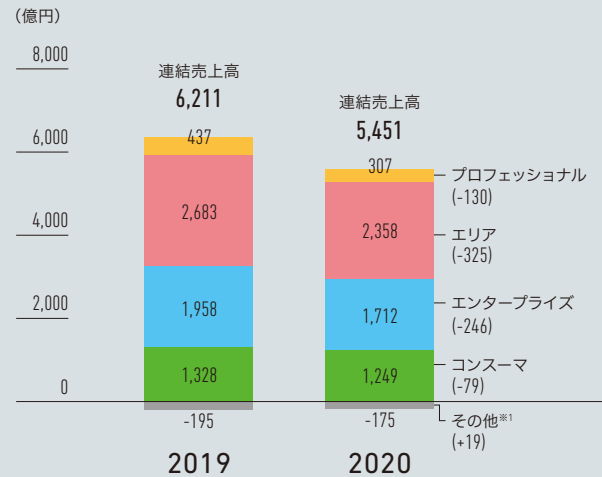


セグメント別業績概況

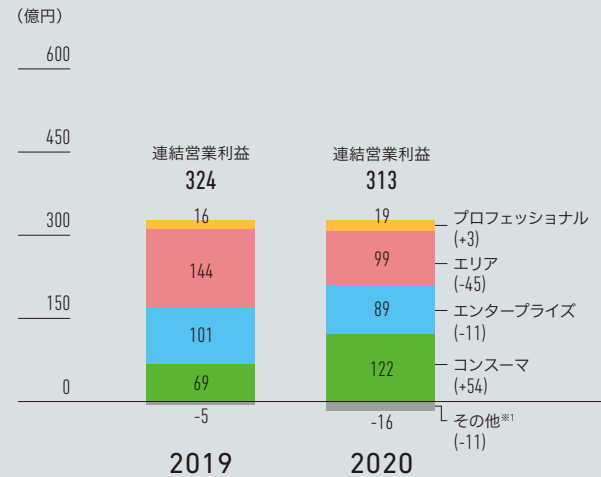
「コンシューマ」「エンタープライズ」「エリア」「プロフェッショナル」の4分野で事業を展開し、多くのお客さまの価値創造を支援しています。



事業分野別売上高



事業分野別営業利益



()内は対2019年12月期比増減額

※1 その他はセグメント間内部売上高やシェアードサービス事業※2、セグメントに配分していないBPO事業などの売上を含みます。また、各セグメントに配分していない会社費用なども含まれています。
 ※2 シェアードサービスとは、同一グループ内の複数組織で実施されている共通業務を集中化して、サービス向上とコスト削減をはかる仕組みのことです。

2020年12月期セグメント別主要製品・サービスの売上高増減要因

コンシューマ	エンタープライズ
<p>売上 ▼ レンズ交換式デジタルカメラおよびコンパクトデジタルカメラ</p> <ul style="list-style-type: none"> 当期に発売したミラーレスカメラ「EOS R5」「EOS R6」「EOS Kiss M2」は好評を得たものの、外出自粛などにより個人のお客さまの購入マインドは低く、需要が低調に推移。また、カメラ販売店や家電量販店などで一時的に臨時休業や営業時間の短縮が実施されるなど販売機会が制限 	<p>売上 ▼ オフィスMFP</p> <ul style="list-style-type: none"> 年初から市場が低調に推移していたことに加え、輪番休業の実施に伴い営業活動が制限を受けたことによる案件の減少
<p>売上 ▲ インクジェットプリンター</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭用インクジェットプリンターが在宅勤務やオンライン学習が増加したことにより需要が大きく伸び、当期発売の高付加価値製品を中心に好調に推移。また、特大容量タンク「GIGA TANK」搭載製品も引き続き需要が好調に推移 	<p>売上 ▼ レーザープリンター</p> <ul style="list-style-type: none"> オフィスMFP同様に営業活動の影響があったこと、および前期に大型案件が複数あったことの影響
<p>売上 ▼ インクカートリッジ</p> <ul style="list-style-type: none"> カラープリントや年賀状の減少などによる市場の縮小 	<p>売上 ▼ 保守サービス、レーザープリンターカートリッジ</p> <ul style="list-style-type: none"> テレワークが継続したことなどにより、オフィスにおけるプリントボリュームが減少
<p>売上 ▲ ITプロダクト</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅勤務需要の高まりに伴うPC周辺機器およびゲーミングPCの販売が引き続き伸び 	<p>売上 ▼ 大手企業向けITソリューション</p> <ul style="list-style-type: none"> 第4四半期から受注状況は改善してきたものの、前期にWindows 7サポート終了に伴うビジネスPCの入れ替え需要や、SIサービスおよび基盤システムにおいて大型案件があった反動減 営業活動の縮小などによる案件の減少や後ろ倒しの発生
エリア	プロフェッショナル
<p>売上 ▼ オフィスMFPおよびレーザープリンター</p> <ul style="list-style-type: none"> 前第4四半期から後ろ倒しになっていたオフィスMFPの案件の獲得は進んだものの、年初から市場が低調に推移していたことに加え、輪番休業の実施に伴い営業活動が制限 	<p>売上 ▼ プロダクションプリンティング</p> <ul style="list-style-type: none"> モノクロ連帳プリンターなどは伸びたものの、プリントボリューム低下などに伴う消耗品販売が減少 POP制作関連のビジネスが減少
<p>売上 ▼ 保守サービス、レーザープリンターカートリッジ</p> <ul style="list-style-type: none"> テレワーク継続の影響を受け、プリントボリュームが減少 	<p>売上 ▼ 産業機器</p> <ul style="list-style-type: none"> 半導体製造関連装置は売上を伸ばしたものの、検査計測装置などが減少
<p>売上 ▼ 中小企業向けITソリューション</p> <ul style="list-style-type: none"> テレワーク環境構築ニーズが引き続き高く、IT支援クラウドサービス「HOME」が順調に推移し、ウイルス対策ソフト「ESET」などのセキュリティプロダクトが増加。また、IT機器などの保守や運用サービスの受注件数が増加した一方、ビジネスPCは、テレワークの需要はあったものの、前期にWindows 7サポート終了に伴うビジネスPCの入れ替え需要が大きく伸びていた反動減が影響 	<p>売上 ▼ ヘルスケア</p> <ul style="list-style-type: none"> 調剤薬局向けで前期の大型案件の反動はあったものの、病院向けの電子カルテおよび医療IT基盤の構築などに係る複数の大型案件を受注 <p>※なお、2020年1月に連結子会社であったキヤノンライフケアソリューションズ(株)の株式をキヤノンメディカルシステムズ(株)に譲渡しています。キヤノンライフケアソリューションズ(株)の前期売上高は110億円、営業利益は1億円となっており、この影響を除くと増収しています。</p>